

民間部会・幹部合宿
憲法いかす政治を



2月7日と8日河内長野荘で、民間部会・単産幹部合宿を行い春闘の取り組みなど交流しました。学習会では講師に大阪憲法会議・共同センターの山田事務局長に「憲法いかすあたりまえの政治を実現する力はどこにあるのか」について話して頂きました。

全国で集団訴訟・
労契法20条裁判



2月14日、郵政ユニオンは正規職員と同等の諸手当を求め全国で154人が立ち上がり、提訴しました。ある原告の方は記者会見で「同居している母親の顔色が曇っているのが辛い。笑顔を取り戻すために裁判を決意した」と力強く訴えました。

おしゃべり学習会で
労組の必要性を実感



パート・非常勤連絡会は2月17日、国労大阪会館でパート春闘おしゃべり学習交流会を開催。職場のリアルな悩みとして、人員不足や会計年度任用職員の問題、民間委託化などが出され、労働組合の必要性を実感出来る交流会になりました。

困ったら相談を、
仲間づくり宣伝



3月2日淀屋橋にて、「春の仲間づくり」宣伝を取り組みました。働き方を改善していくために必要な労働組合づくりを呼びかけ、「パワハラなど職場で困ったことがあればあきらめないで相談して下さい」と訴えました。

ろーれんフラッシュユ



大阪労連は国労大阪会館で2月5日、「最低賃金署名スタート学習会」を開催しました。講師の静岡県立大学短期大学部准教授の中澤秀一さんは、最低賃金の引き上げは時間給・月給を問わず社会的に影響を与える賃金となっている事実と、

生計費調査から分かった最低賃金の問題点として、「都心も地方も生活に必要な最低生計費は変わらない」その上で「人間らしく暮らすには1500円は必要。今の制度は経済の地域間格差を拡大させ人口流失の問題となっていること、最低賃

金こそが、格差・貧困問題を解決に導くためのカギを握っている」、そして「労働組合は、全ての労働者の為に活動することが重要と話されました。また、大阪における生計費調査実施への期待と要望が寄せられました。最後に「全国一律時間

給1500円以上の最賃実現を求める要請署名」
「中小企業支援の拡充と最賃の改善による経済好循環の実現を求める要請署名」の取り組みなどの方針が提起されました。

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

全国一律時間給1500円以上の最低賃金実現を

大阪市地区協議会は2月12日と13日に対市交渉を実施、韓国ではカジノによる経済損失が大きいことを示すと「他国でカジノによる経済損失は知っているが、客観的な根拠がないので考慮はしていない」とのこと。また、大阪市は災害問題に対する認識が甘く職員の「意識」に頼るばかりで、そのための人員確保

も具体的な対策も何も示されませんでした。堺労連は2月17日労基署懇談、20日商店街訪問を取り組みました。労基署懇談では「職員数が増えないので大変、特に防災担当の職員が少ない」との声がありました。商店街訪問では「時給1000円以上やないと誰も来ない」などの声がありました。消費税10%への

場訪問を行い、ビクトリーマップや最賃引き上げ署名などを届け意見交換しました。ある連合職場では「昨年、同業他社に比べ低賃金であることとを春闘要求で訴えたところベアが勝ち取れた」との声も聴かれました。2月23日には北河内自動車パレードが取り組まれ17台の宣伝カー等で沿道の市民へ春



北河内の自動車パレード



大阪市地区協の対市交渉

東大阪労連は、2月20日「地域経済の活性化」に向けて、商工会議所との懇談を取り組みました。商工会議所からは「今、新型コロナウイルスが最大の課題。イベント中止なども出ているので市内企業向けにアンケートを実施する」、また賃上げについては「賃金は上げないため。中小企業では長い間働いて欲しいので年功序列の賃金でも構わない」と回答がありました。



吹田イオン前宣伝行動

引き上げについては5割の方が「消費税は下げてほしい」と回答しました。それ以外にも各地域で自治体議会への意見書採択運動、春闘宣伝や春闘学習決起集会などが取り組まれています。大阪労連では今後も「労働者の賃上げで地域経済活性化・景気回復を」掲げて運動を進めていきます。

闘の取り組みをアピールしました。それ以外にも各地域で自治体議会への意見書採択運動、春闘宣伝や春闘学習決起集会などが取り組まれています。大阪労連では今後も「労働者の賃上げで地域経済活性化・景気回復を」掲げて運動を進めていきます。

すべての労働者の
賃上げで

地域経済の活性化で景気回復を

世界的な行動を肌で感じ、
活かしていきたい

大阪医労連・
医療生協労働組合かわち野 代喜麻美さん

今回ニューヨークで行われるNPT再検討会議・原水爆禁止世界大会へ参加させていただくにあたって5年に一度の歴史的な瞬間に立ち会えることを誇りに思うと同時に、この機会をいただいたからこそ自分にできることをしっかりと考えなければいけないと思っています。世界大会へ被爆者の方々と一緒に訴えに行くことの重要性和唯一の戦争被爆国である日本に住む私たちにできることをしっかりと心にとめて、憲法9条を生かして戦争する国づくりを許さず、平和の下で安心して働ける国づくりを訴えていきたいと思っています。この世界的な行動を肌で感じ、学んだことをしっかりと取り組みに活かせるよう行動参加してまいります。

被爆75年、核兵器廃絶の歴史転換へ
世界の仲間たちと

福保労大阪地本
大阪福祉事業財団分會
あさひ希望の里班 池田勝紀さん

私が勤務している社会福祉法人大阪福祉事業財団には法人綱領があり、その中に「平和と国際連帯」という項目があります。仕事や労働組合活動を通じて平和の大切さを学びました。若い時から原水爆禁止広島大会や長崎大会に参加してきました。核兵器全面禁止、廃絶をめざす世界的行動に以前から参加したいと思っていたところ今回機会をいただけることになりました。被爆75年、2020年を核兵器廃絶の歴史転換とするため、世界の仲間たちと行動してきます。

世界大会
inNYの
成功へ

被爆75年となる2020年4月に、核兵器全面禁止・廃絶をめざし、初めてニューヨークで開催される原水爆禁止世界大会へ大阪労連の仲間も参加します。参加する仲間の声が届きましたので紹介します。